

令和6年度 豊橋技術科学大学第3年次入学者選抜学力検査問題解答例

# 応用数学

[ 1 ]

(1) 求める座標は以下のように計算できる。

$$\begin{pmatrix} -1 & -2 & 0 \\ 2 & 3 & -1 \\ 2 & 2 & -2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 5 \\ -2 \\ -2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1 \\ 6 \\ 10 \end{pmatrix} \quad \text{よって, } (-1, 6, 10)$$

(2) 固有方程式から, 固有値  $\lambda$  を計算する。

$$\begin{vmatrix} -1-\lambda & -2 & 0 \\ 2 & 3-\lambda & -1 \\ 2 & 2 & -2-\lambda \end{vmatrix} = -\lambda(\lambda+1)(\lambda-1) = 0 \quad \Rightarrow \lambda = -1, 0, 1$$

$\lambda=0$  のとき, 固有ベクトルは, 次のようになる。

$$\begin{pmatrix} -1-0 & -2 & 0 \\ 2 & 3-0 & -1 \\ 2 & 2 & -2-0 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \Rightarrow \begin{cases} -x-2y=0 \\ 2x+3y-z=0 \\ 2x+2y-2z=0 \end{cases} \therefore k_1 \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix} \quad (k_1 \neq 0)$$

$\lambda=-1$  のとき, 固有ベクトルは, 次のようになる。

$$\begin{pmatrix} -1-(-1) & -2 & 0 \\ 2 & 3-(-1) & -1 \\ 2 & 2 & -2-(-1) \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \Rightarrow \begin{cases} -2y=0 \\ 2x+4y-z=0 \\ 2x+2y-z=0 \end{cases} \therefore k_2 \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 2 \end{pmatrix} \quad (k_2 \neq 0)$$

$\lambda=1$  のとき, 固有ベクトルは, 次のようになる。

$$\begin{pmatrix} -1-1 & -2 & 0 \\ 2 & 3-1 & -1 \\ 2 & 2 & -2-1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \Rightarrow \begin{cases} -2x-2y=0 \\ 2x+2y-z=0 \\ 2x+2y-3z=0 \end{cases} \therefore k_3 \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix} \quad (k_3 \neq 0)$$

(3)  $\lambda=1$  のときの固有ベクトルと  $\mathbf{0}$  ベクトルは変換の前後で変化しない。  
よって, 求める点の座標は  $(c, -c, 0)$  である。ただし,  $c$  は任意定数。

[2]

(1)

ア.

$$f_x(x,y) = \frac{2x}{x^2+y^2}, \quad f_y(x,y) = \frac{2y}{x^2+y^2}$$

イ.

$$f_{xy}(x,y) = -\frac{4xy}{(x^2+y^2)^2}$$

ウ.

$$f_{xx}(x,y) = \frac{-2x^2+2y^2}{(x^2+y^2)^2}, \quad f_{yy}(x,y) = \frac{2x^2-2y^2}{(x^2+y^2)^2}$$

より

$$f_{xx}(x,y) + f_{yy}(x,y) = 0$$

(2)

ア.

$$\int_{\frac{\pi}{3}}^{\frac{\pi}{2}} \sin^3 x \, dx = \int_{\frac{\pi}{3}}^{\frac{\pi}{2}} \sin x (1 - \cos^2 x) \, dx$$

となり, ここで  $t = \cos x$  とおいて置換積分をすると

$$\int_{\frac{\pi}{3}}^{\frac{\pi}{2}} \sin^3 x \, dx = \int_{\frac{1}{2}}^0 (t^2 - 1) \, dt = \left[ \frac{t^3}{3} - t \right]_{\frac{1}{2}}^0 = \frac{11}{24}$$

イ.

$$\iint_D y \cos x \, dx \, dy = \int_0^1 y \, dy \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos x \, dx = \left[ \frac{y^2}{2} \right]_0^1 [\sin x]_0^{\frac{\pi}{2}} = \frac{1}{2}$$

ウ.

$$\iint_D e^{-x^2} \, dx \, dy = \int_0^1 e^{-x^2} \, dx \int_0^x dy = \int_0^1 x e^{-x^2} \, dx = \left[ \frac{-e^{-x^2}}{2} \right]_0^1 = \frac{1-e^{-1}}{2} = \frac{e-1}{2e}$$

[ 3 ]

(1) 取り出した球が赤玉である事象を $X$ 、取り出したカードの番号が 1 である事象を $Y$ とする。

ア. 事象 $X$ が起きる確率 $P(X)$ は、白玉 4 個と赤玉 1 個の合計 5 個の玉から赤玉を取り出す確率であるから、

$$P(X) = \frac{1}{5}$$

イ. 事象 $X$ が起きたときに事象 $Y$ が起きる条件付き確率 $P(Y|X)$ を求めれば良い。事象 $X$ が起きると、1 から 3 までの番号がついている合計 3 枚のカードの中から 1 枚を取り出すので、

$$P(Y|X) = \frac{1}{3}$$

ウ. 事象 $Y$ が起きる確率 $P(Y)$ は、事象 $X$ が起きる場合と、事象 $X$ が起きない場合に場合分けして考えると、

$$P(Y) = P(X \cap Y) + P(\bar{X} \cap Y) = \frac{1}{5} \times \frac{1}{3} + \frac{4}{5} \times \frac{1}{6} = \frac{1}{5}$$

エ. 事象 $Y$ が起こったときに事象 $X$ が起きる条件付き確率 $P(X|Y)$ を求めれば良い。乗法定理より、

$$P(X|Y) = \frac{P(X \cap Y)}{P(Y)} = \frac{1}{3}$$

(2)

ア. 条件 $v(0) = 0$ より、 $v(t) \neq \frac{mg}{k}$ であるとしてよいので、

$$\frac{-kv'(t)}{mg - kv(t)} = -\frac{k}{m}$$

より

$$\log|mg - kv(t)| = -\frac{k}{m}t + C$$

ただし、 $C$ は任意定数である。よって、

$$v(t) = C_1 e^{-\frac{k}{m}t} + \frac{mg}{k}$$

ただし、 $C_1$ は 0 ではない任意定数である。条件 $v(0) = 0$ より、

$$v_1(t) = \frac{mg}{k} \left(1 - e^{-\frac{k}{m}t}\right)$$

イ.

$$v_1'(t) = ge^{-\frac{k}{m}t}$$

より、 $v_1'(0) = g$ となる。よって、求める接線の傾きは $g$

ウ.

$$\lim_{t \rightarrow \infty} v_1(t) = \frac{mg}{k}$$